

肥料分析の技能試験をはじめました ～技能試験は分析室の全国統一模試！？～

FAMICでは2026(令和8)年度から肥料分析について技能試験を始めました。
技能試験とは一言で言うと、肥料メーカーなどの分析室が正しい結果を出せているかを確認するための『分析室向けの全国統一模試』の事です。詳しくご紹介します。

(1) 技能試験の役割とは？

例えば、10 cmの長さを測ったとき、Aさんのものさしでは「10 cm」なのに、Bさんのものさしでは「9.5 cm」だったら困りますね。

世の中には私たちの目に見えないところでたくさんの「数値」が測られています。

これらの検査をしている分析室の「ものさし」がずれていないか確認するのが技能試験の役割です。

食品の包材に、たんぱく質・脂質・炭水化物などの栄養成分量が表示されているように、肥料の袋にも、分析結果をもとに窒素・りん酸・加里などの肥料成分量が表示されています。肥料の分析室では、これらの成分だけでなく、有害成分が人に害を及ぼすほど含まれていないかどうかについても分析し、確認しています。そして、これらの分析を行う分析室の、分析方法に問題がないかを確認するために活用されているのが、肥料技能試験です。



生産業者保証票	
登録番号	生第〇〇〇〇〇号
肥料の種類	化成肥料
肥料の名称	ふあみつく1号
保証成分量(%)	
窒素全量	15.0
内アンモニア性窒素	10.5
く溶性りん酸	15.0
内水溶性りん酸	6.0
水溶性加里	12.0

(2) 肥料技能試験のやりかた (内が担当)

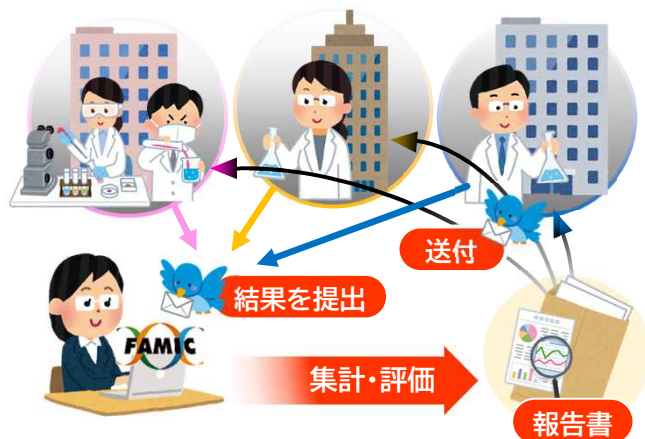
- ① **FAMIC** 肥料を分析できるまで粉碎し、どこからとっても成分が同じになるように均一に混ぜて小分けします。小分けした試料の袋をランダムに取り出し、袋の違いによって分析値に差がないか調べます。
- ② **FAMIC** 参加を希望する分析室に試料を配付します。配付時はその肥料にはどれだけの成分が入っているか知らせていません。
- ③ **分析室(肥料メーカー・分析機関・都道府県試験所など)** 普段使っている方法で試料を分析し、その結果をFAMICに提出します。



④ **FAMIC** 集められた分析結果を集計します。各分析室の分析値が全体の集計結果と比べてどのくらい離れているか評価した結果報告書を分析室に送ります。

⑤ **FAMIC** 参加した分析室向けに結果報告会を開きます。この結果報告会では全体の集計結果と分析方法で注意する点を説明します。

⑥ **分析室(肥料メーカー・分析機関・都道府県試験所など)** 結果報告書を受け取った後、評価が悪かったときには、結果報告書や結果報告会を参考に自分たちの分析方法を改善します。



結果報告会(WEB)

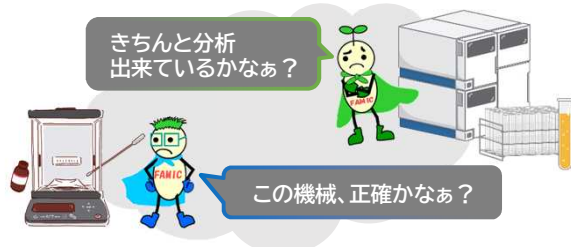


(3) 技能試験はなぜ大切なのでしょう？

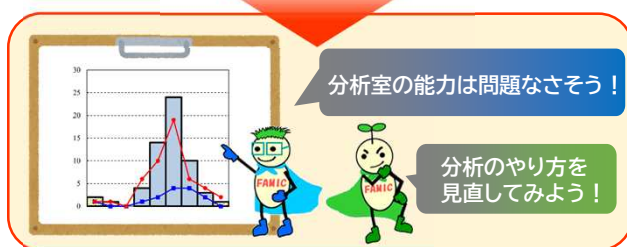
もし、このような仕組みが無かったら・・・

- ・使用する肥料に、表示されている分量がちゃんと入っていないかもしれません。
- ・本当は危ない物質が入っているのに、検査ミスで見逃されてしまうかもしれません。

私たちが安心して生活できるのは、分析室がこのような技能試験に参加することによって、業務の改善点を見だし、技術力アップを行うことにより「どこの検査結果も信じられる」ようになっているからです。



技能試験をやってみたところ・・・



◆おわりに

技能試験は、いわば「検査結果の信頼性を守るための、目に見えないガードレール」のようなものです。FAMICでは、2026年度から肥料技能試験を実施しています。この肥料技能試験をとおして肥料の分析室の分析技術の向上に貢献していきます。

～日頃、肥料を分析している分析室のみなさまへ～

2026年度から、FAMIC主催となって肥料技能試験を実施しております。現在(2026年5月25日時点)、2026年度実施分を受け付けております。ご参加をお待ちしております。

- 肥料の種類 : 化成肥料
 分析項目 : 肥料成分及び有害成分等
 参加料 : 8,200円(税・送料込)
 報告締切 : 2026年9月18日



詳細はこちらをご覧ください。

URL <https://www.famic.go.jp/ffis/fert/sub12.html>